

ある金持ちの末路

シリーズ～福音の力～

2020/08/23

ルカによる福音書16章19～31節

ある金持ちがいた。いつも紫の衣や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。この金持ちの門前に、ラザロというできものだらけの貧しい人が横たわり、その食卓から落ちる物で腹を満たしたいものだと思っていた。犬もやって来ては、そのできものをなめた。やがて、この貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れて行かれた。金持ちも死んで葬られた。そして、金持ちは陰府でさいなまれながら目を上げると、宴席でアブラハムとそのすぐそばにいるラザロとが、はるかかなたに見えた。そこで、大声で言った。

『父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの炎の中でもだえ苦しんでいます。』しかし、アブラハムは言った。『子よ、思い出してみるがよい。お前は生きている間に良いものをもらっていたが、ラザロは反対に悪いものをもらっていた。今は、ここで彼は慰められ、お前はもだえ苦しむのだ。そればかりか、わたしたちとお前たちの間には大きな淵があって、ここからお前たちの方へ渡ろうとしてもできないし、そこからわたしたちの方に越えて来ることもできない。』

金持ちは言った。『父よ、ではお願いです。わたしの父親の家にラザロを遣わしてください。わたしには兄弟が五人います。あの者たちまで、こんな苦しい場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。』しかし、アブラハムは言った。『お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。』金持ちは言った。『いいえ、父アブラハムよ、もし、死んだ者の中からだれかが兄弟のところに行ってやれば、悔い改めるでしょう。』アブラハムは言った。『もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があっても、その言うことを聞き入れはしないだろう。』

金持ちと物乞い(ラザロ)

- 贅沢な暮らしに明け暮れていた金持ち
 - 「いつも紫の衣や柔らかい麻布を着て、毎日ぜいたくに遊び暮らしていた。」
- 門前に横たわっていた物乞い
 - 「この金持ちの門前に、ラザロというできものだらけの貧しい人が横たわり」
 - ・ 「ラザロ」はヘブライ語では「エリアザル」(神はわが助け)
 - 「その食卓から落ちる物で腹を満たしたいものだと思っていた。犬もやって来ては、そのできものをなめた」
 - ・ 犬は聖書では汚れた動物＞犬にまでなめられている？

突然の大どんでん返し！

- **二人ともあっさり死んだ**
- **ラザロはアブラハムの宴席に連れて行かれた**
 - 「この貧しい人は死んで、天使たちによって宴席にいるアブラハムのすぐそばに連れて行かれた」
- **金持ちは「陰府」で苦しむ**
 - 「金持ちは陰府でさいなまれながら目を上げると」
- **ラザロをよこして下さい！**
 - 「そこで、大声で言った。『父アブラハムよ、わたしを憐れんでください。ラザロをよこして、指先を水に浸し、わたしの舌を冷やさせてください。わたしはこの炎の中でもだえ苦しんでいます。』」

なぜこうなったのか

- **アブラハムの説明**

- 「子よ、思い出してみるがよい。お前は生きている間に良いものをもらっていたが、ラザロは反対に悪いものをもらっていた。今は、ここで彼は慰められ、お前はもたえ苦しむのだ。」

- **金持ちは地獄に墮ち貧乏人は天国に行くのか**

- 死後には逆転が起こるのか？

- **金持ちの金の使い方に対する罰**

- 彼は自分のためだけに金を使い、目の前にいた憐れな物乞いに目をとめなかった！
- 富の使い方を間違えた

金持ちの願い

- **兄弟たちに警告してもらえないだろうか**
 - 「わたしの父親の家にラザロを遣わしてください。わたしには兄弟が五人います。あの者たちまで、こんな苦しい場所に来ることのないように、よく言い聞かせてください。」
- **兄弟たちには聖書が与えてある**
 - 「お前の兄弟たちにはモーセと預言者がいる。彼らに耳を傾けるがよい。」
 - 「モーセと預言者」とは旧約聖書のこと
 - 「**自分自身を愛するように隣人を愛しなさい**。わたしは主である。」レビ記19:18

金持ちの願い もう一押し

- **死者がよみがえれば**

- 「いいえ、父アブラハムよ、もし、死んだ者の中からだれかが兄弟のところに行ってやれば、悔い改めるでしょう。」

- **たとえ死者が生き返っても**

- 「もし、モーセと預言者に耳を傾けないのなら、たとえ死者の中から生き返る者があっても、その言うことを聞き入れはしないだろう。」

- **イエス様の復活を予告している？**

- たとえ自分が復活しても警告に耳を傾けるだろうか？

あくまで「たとえ話」です！

- 金持ちは地獄に墮ち、貧乏人は天国に行く、ということではない
- 天国にはアブラハムが宴会を催していて、地獄は「灼熱地獄」だということではない
- しかし、富の使い方を間違えることは、明白な「**律法違反**」である
 - 裁かれるに値する罪である
- キリストの復活は、愛の完全な履行に与えられる報いである
 - 復活された方の警告に耳を傾けよう！

富の正しい使い方

「そこで、わたしは言っておくが、不正にまみれた富で友達を作りなさい。そうしておけば、金がなくなったとき、あなたがたは永遠の住まいに迎え入れてもらえる。」

ルカによる福音書16章9節